大分県議会議員　木田　昇

# たけのこ

第33号 県議会広報 2022-夏号

発行
大分県議会県民クラブ
大分市大手町 3-1-1
TEL：097-506-5088
FAX：097-538-0136
http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/

題字：草刈樵峰

ハマボウ
（県絶滅危惧Ⅱ類）

## 2022年　第2回定例県議会

### ポストコロナの扉を叩く、社会経済の再活性化

**六月十四日に開会した二〇二二年第二回定例県議会は、六月二十九日に上程議案に対する採決が行われ、十六日間にわたる全会議日程を終えました。**

### ■収束するか「第六波」

感染拡大「第六波」の中心のオミクロン株は、強い感染力を持っていますが、ワクチン三回目接種の進展もあり、重症化リスクはかなり抑えられています。（致死率は年明けの〇・三二％が〇・〇七％まで低下）

年明けから長期にわたる「第六波」の収束は見通しがつかず、今後も常時換気や新たな対処方針に沿ったマスク着用など、基本的な感染対策を徹底していく必要があります。

### ■コロナとの共生を模索

コロナ禍のこれまでの経験により、感染防止策や感染後の処置等に多くの知見が蓄積され、コロナへの対応力は二年前に比べ、格段に高まっています。

海外では、マスク着用や海外渡航等の感染対策・行動規制を緩和する流れにあります。日本も、そろそろ感染対策と社会経済再活性化の両立に向けて、日常性の回復を議論・検討していくべき時期にあると考えられます。

### ■原油・物価高への支援策

ロシアのウクライナ侵略に対する経済制裁は、世界規模で経済に打撃を与え、日本では急激な円安と相まって、深刻な原油価格・物価高騰に直面しています。

今議会では、国の財政支援による補正予算を編成し、ある程度の支援には結びつきましたが、その規模は小さいと言わざるを得ません。政府においては、家計や事業者にしっかりと行きわたる支援策を創出する必要があります。

## 県補正予算の主な事業と概要

政府において、コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」が決定されたことを受け、影響を受けている生活者や事業者の負担軽減に向けた支援等に係る県の補正予算を審議しました。

**＜補正後の一般会計予算＞**

| | |
|---|---|
| **補正額の合計：** | **5,048,744千円** |
| 既決予算額　： | 717,841,000千円 |
| **累計予算総額：** | **722,889,744千円** |

（歳入財源の内訳）

| | |
|---|---|
| ○国庫支出金： | 5,016,670千円 |
| ○寄　附　金： | 8,000千円 |
| ○繰　入　金： | 24,074千円 |
| | （おおいた元気創出基金等の取崩） |

**【事業概要】**　＊【 】内の額は補正後の累計額

### 1．生活困窮者自立支援事業

感染症の影響が長期化するなか、物価高騰等に直面する生活困窮者等の維持を図るため、支援金を支給する。

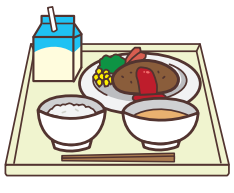
・対 象 者：生活福祉資金の特例貸付の借入額が限度額に達した世帯等
・支給期間：３か月（再支給の場合６か月）
・支 給 額：単身世帯6万円、2人世帯8万円
　３人以上世帯10万円（月額）
【８０，４３１千円】

＊予算は県内４町村分（他の14市分は各市で予算化）

### 2．給食等負担軽減緊急支援関連事業

食材費が高騰するなか、給食費等の値上げを抑制し、保護者の経済的負担を軽減するため、学校等に対し食材費増加分を支援する。

・私立幼児教育－保育施設等（638施設）　84,974千円
・私立小学校　1,160千円
・県立特別支援学校、定時制高等学校　5,503千円
・子ども食堂（89施設）4,943千円
【９６，５８０千円】



### 3．高等学校授業料支援関連事業

感染症や原油価格高騰等の影響を受ける保護者の経済的負担を軽減するため、家計急変した世帯に対して授業料支援を実施する。

・高等学校
　支給対象：世帯年収が590万円未満となる家計急変世帯
　支 給 額：県立　9,900円／月
　　私立　最大　35,000円／月
＊高等学校専攻科の場合は、世帯年収380万円未満となる世帯が対象　【１５，２３９千円】

### 4．地域消費喚起プレミアム商品券支援事業

県内消費の下支えによる地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行する商工会・商工会議所等に対して、市町村と連携して支援する。

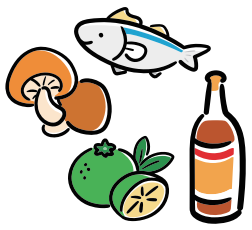
・プレミアム率　30％（県20％、市町村10％）
・発行規模　130億円程度（市町村上乗せ分を含む）
【１，６４２，０００千円】

### 5．物価高騰対応中小企業等業務改善支援事業

物価上昇の中で、生産性を向上させ賃金を引き上げる中小企業等を支援するため、助成金の支給等を行う。

・物価高騰対応業務改善助成金の支給
　対象者：国の業務改善助成金の対象外となる地域別最低賃金と事業場内最低賃金の差が、31円以上の中小企業等
　支給額：業務改善に要する経費の4/5
・物価高騰対応業務改善奨励金の支給
　対象者：国の業務改善助成金の採択を受けた中小企業等
　支給額：業務改善に要する自己負担分の1/2
【８２８，０００千円】

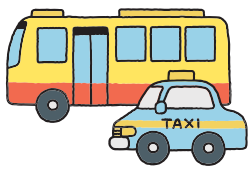
### 6．県産品 EC 販路確保支援事業



県産品等の需要を創出するため、大手ECサイト等を活用したWEB物産展を開催するとともに、割引クーポンを発行する。

・割引率：20％　【９２，５２０千円】

### 7．地域公共交通燃料高騰緊急支援事業




コロナ禍の影響に加え、燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域公共交通事業者の事業継続を支援するため、乗合バス等の運行に必要な経費を助成する。

・補助対象：各燃料費の県内市場価格（各月平均）と過去3年平均の差額×3/4
　乗合バス　軽油車　20円/L上限
　タクシー　LPG車　10円/L上限
　GS車・軽油車　20円/L上限
・対象期間：令和４年４月１日～９月30日
【１７９，９１６千円】

### 8．ウクライナ避難民緊急支援事業

ウクライナから県内に避難された方々の生活支援のため、受入れ市町村、県及び関係団体で組織したウクライナ避難民支援協議会に、ふるさと納税を活用して募った寄附金を拠出する。　【8，０００千円】

# 委員会報告
# 商工観光労働企業委員会

本委員会では、マスコミでも報じられている以下の問題事案について、県執行部からこれまでの経過や今後の対応策について報告があり、各委員から原因究明と再発防止に対し、厳しく指摘がなされました。

## プレミアム商品券の不適正販売

- **事案の概要**
  佐伯市にて、プレミア率30％の商品券を３冊 / 世帯を上限で販売するところを、制限を超える大量販売を行なった。（最大で１世帯440冊、572万円相当）
- **不適正販売の原因**
  販売現場への販売冊数制限ルールの不徹底
- **再発防止対応策**
  申込書の提出や免許証等による本人確認を適正に行い、購入者の住所・氏名を把握する。
  購入限度額について周知を図るほか、条件に反して購入した場合は商品券の売買は無効となる旨を明示する。
- **委員から出された意見**
  初回の販売で、売れ残りが多すぎたのが原因ではないか。次回販売においては、販売方法に工夫するよう市側と調整していただきたい。
  デジタル技術も活用して、大量購入ができないようチェックすべき。

## 「ツーリズムおおいた」の使途不明金

- **「公益社団法人ツーリズムおおいた」について**
  大分県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化をはかり、併せて健全な観光旅行の普及発展と国際観光の振興を促し、それによって県民の生活・文化・経済の向上発展・国際親善に寄与することを目的とした団体。

- **事案の概要**
  令和３年５月に前年度決算業務を行なっていたところ、使途不明金が確認された。（この時点では、約490万円）
  その後、外部調査委員会を設置して調査を開始し、本年６月に全体で約5,800万円に及ぶことが判明。（案件は現在、刑事告訴中）
- **当該法人の対応状況**
  会計手続き（通帳の管理、払戻伝票の運用等）の見直し、税理士や公認会計士によるチェック機能の強化、警察の捜査への協力など
- **県の対応状況**
  公益法人認定法に基づく立入検査を計４回実施。当該法人の再発防止策の取組状況のチェックを計３回実施。当該法人の適切な運営を確保するため、必要な都度、助言・指導を実施。
- **委員から出された意見**
  県からの委託料や補助金が不正に使われたということはないのか。（県答弁：県からの財源は適正に処理されている）
  まだまだ全容が不透明であり、警察捜査と並行して委員会としても調査を継続すべき。

## 寄せられた善意に感謝
## ウクライナ避難民を支援

ロシアによる無法な侵略により、数百万人のウクライナ国民が国外へ避難せざるを得ない状況となりました。日本への避難民は千人を超え、うち大分県では、９世帯24人（６月現在）を受け入れています。

そこで、緊急プロジェクトとして県を窓口に寄附金を募ったところ、500万円を超える寄付が集まりました。その財源を使って、避難民の生活支援や地域との交流事業に役立てようと、県から800万円をウクライナ避難民支援協議会に拠出することとしました。

一日も早くウクライナに平和が訪れることを願うとともに、寄せられた善意に感謝をいたします。

## 新たに吉田副知事が就任

2020年７月に厚生労働省から副知事に着任した黒田秀郎氏が急きょ本省へ帰任することとなり、後任に同じく厚生労働省から吉田 一生（よしだ かずなり）氏が副知事として選任されました。

黒田前副知事におかれては、厚労省出身ということもあり、県でのコロナ対策に大きくご貢献いただきました。

【吉田副知事の経歴】
静岡県出身、上智大学法学部卒業、H8年厚生省（当時）入省、厚労省大臣官房参事官から現職

## 防災士 木田 昇の 防災メモ

### ー昨年度の災害を振り返ってー

2021年度は、７月初旬に停滞した梅雨前線による豪雨が発生し、西日本から東北地方の広範囲で大きな被害が発生しました。

その後、８月中旬には、九州地方から東日本にかけて前線が停滞し、総降水量が多いところで1,400mm を超える記録的な大雨となりました。（大分県内でも全壊の住家被害が複数発生）

なお、震度５弱以上（最大は福島県沖の震度６強）の地震は、年間で13回発生しました。（年明けの日向灘地震で、大分県でも震度５強を記録）

大雨の場合、夜間の避難は危険を伴います。防災情報を小まめにチェックし、明るいうちに避難するよう気をつけましょう。

また、車の避難では、冠水した道路で立ち往生し水没する事故も発生しています。確実に安全な経路がなければ、車での避難は控えましょう。

## 最近の活動

**4月**

▷内外情勢調査会「デジタル変革で加速～安心・活力・発展の大分県～」　講師：大分県知事 広瀬 勝貞 氏

▶農業文化公園の愛称が「るるパーク」に

大分県農業文化公園の愛称を公募し、憩え「る」、遊べ「る」･･･から、「るるパーク」と名付けられる。四季折々の花々が楽しめ、キャンプ場としても人気のスポットに。（写真はネモフィラ畑）

▷政経懇話会「新しい資本主義をどう実現するか～岸田政権の経済政策を読み解く～」　講師：㈱大和総研経済調査部 シニアエコノミスト 神田 慶司 氏

▷第93回メーデー大分県中央大会（オンライン開催）

**5月**

▷大分川・大野川総合水防演習（大分川左岸河川敷）

▷大分大学経済学部創立100周年記念事業 「九州を元気に！～ JR 九州のこれまでとこれから～」講師：JR 九州㈱ 代表取締役会長執行役員 青柳 俊彦 氏

▷内外情勢調査会「新型コロナウイルス対策の現状と今後の見通し」　講師：NPO法人 医療ガバナンス研究所理事長 上 昌弘 氏

▷国道210号改修促進協議会役員会

▷けんしん大学「ビジネス素養としての宇宙」　講師：日本文理大学工学部 教授 中川 稔彦 氏

▷県民クラブ主催「こんばんはⅡ上映会とトークの集い」

▶東アジア文化都市2022大分県開幕式典（別府市）

昨年夏に開催された日中韓文化大臣会合にて、2022年の東アジア文化都市に大分県が選定。中国の温州市・済南市、韓国の慶州市とともに、年間を通じて文化事業や文化交流を行い、相互理解と連帯感の形成を促進。

**6月**

▷政経懇話会「ウクライナ戦争と平和の条件」　講師：神奈川大学法学部 特別招聘教授 下斗米 伸夫 氏

▷大分大学経済学部創立100周年記念式典

▷第３回定例県議会開会

▷県議会政策勉強会「事例から学ぶ DX」　講師：富士通㈱ シニアエバンジェリスト 武田 幸治 氏

▶内外情勢調査会「ロシア・ウクライナ戦争と日本の安全保障」　講師：東京大学先端科学技術研究センター 専任講師 小泉 悠 氏

ウクライナ情勢の変化により、最近はテレビ解説者としてもお馴染み。ソ連崩壊以降、貴重な存在となったロシア研究家の一人。ロシアの歴史、プーチンの思考を詳しく解説。因みに奥様はロシア人とのこと。

▷新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

▷第３回定例県議会閉会

## 竹の子記

最近のテレビでは、新型コロナよりウクライナ戦争の状況の方が多く報道されています。凄惨な映像は、安全保障に対する意識に変化を与えていないか心配で、世論調査によると「日本の防衛費増額を容認する」との割合が五割を超えたようです▼一部の政治家は防衛予算を「ＧＤＰの一％から二％へ増額」と、主張しています。「％」で表現されるとピンときませんが、金額にすると、日本の現行防衛予算は年間約六兆円。それを倍増すれば、十兆円を超えることになります▼世界軍事予算ランキングでは、米国がダントツ一位で八十兆円。二位が中国の三十兆円、あのロシアでさえも六・六兆の五位です。日本の防衛費が倍増となれば、世界第三位の軍事大国となります▼安倍政権時代にＦ35戦闘機を百五機追加発注することがトランプ大統領と約束されました。これだけでも大変な額（一機二百三十億円超とも）です。所得倍増なら許せますが、「防衛費倍増」は容認できません▼ちなみに、日本の教育予算はＯＥＣＤの三十八か国のうち、三十七位。政府の借金残高は千兆円超え、物価高も続いています。貴重な税金を何に使うかは、政治にとって最も大切なことです。

公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。
ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください！
＊QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPはコチラ
https://kenmin-club.com/